

笑顔あふれる学校・思いやりあふれる学校・チャレンジあふれる学校

令和2年度 飯野中学校 学校だより 第54号

自律 志保井が丘 協働
挑戦 2020.10.27 発行 文責 校長 目黒 満 創造
教師・保護者・地域がみんなで見守り、みんなで育む学校

本校 PTA 有志による Youtube Live 配信チームに 心より感謝と敬意を表します！！

24日の松桜祭では、コロナ対応での無観客実施のため本校史上初のYoutubeLiveによるネット限定配信にチャレンジしてもらいました。配信チームの皆様、本当にありがとうございました。

学校としては、松桜祭にむけた2週間を基本に、毎年のことですが短期集中・短期決戦・短期完全燃焼での準備活動に取り組んでいます。学校生活にメリハリをつけ、かつ集中して物事に取り組み、自分の役割を責任を持って他の人と協働して成し遂げる経験をさせたいというねらいをもってこうした形を取っています。毎年生徒にとって、特に3年生にとっては「忘れられない、最高の文化祭を創ろう」という思いで、生徒も教師も一緒になって無我夢中で取り組む2週間となっています。また例年だと、当日は保護者による炊き出しやバザー等、全面的なバックアップが伝統となっていました。

ところが今年は、コロナ対応により「密を避ける」という最大の命題のもと、「**文化祭の主役は生徒である!**」という基本を再確認し、無観客での実施を決断しました。

今回の決断は、校長としても苦渋の選択でした。でも基本は「文化祭は生徒のもの」であることを再確認し、最悪の事態である「中止」も視野に入れながら何度も何度も熟慮した結果が、無観客実施でした。

決断してからは、なにより生徒の命・健康を最優先としながら、先生方も生徒と一緒に学校で全力で活動し、家に帰ってからも動画編集や発表の台本作り、衣装作りなどに取り組み、同時に毎日の授業準備も手を抜かずに取り組んできた2週間でした。

校長としては、無観客を選択した当初からYoutubeでの配信も選択肢の一つでした。「YoutubeLive スイッチング中継」でネット検索

したところ、ネット動画中継現場技術サービスを提供している業者さんがあり、埼玉県の会社の場合の例では「6時間程度のイベントであれば10万円から」といった内容でした。当然、スタッフの交通費等も別途加算されると考えると、プロに依頼するのは金額的に難しいと判断しました。当然のことですが、「先生方でITに長けた方に・・・」とも考えましたが、とてもそんな余裕は教職員にはないことは火を見るより明らかでした。

そんな時にPTA会長さんから、「保護者の中に配信ができる人がいるかも・・・」という情報をいただき、「保護者のためのことは保護者の力で!」ということでPTAの有志で立ち上げてもらったのが今回の配信チームでした。

今回の配信が実施できたのは、たまたまITの技術に長けた方でスイッチングのための機器もお持ちだった保護者の方にご協力いただいたこと、そして有志の皆様がボランティアでご自分のお休み(もしかするとお休みをとっていただいた方もいたのかも・・・)の時間を丸一日、リハーサルも含めれば夕食の時間も割いて、皆さんのために奉仕していただいた結果の配信だったことを、改めて保護者の皆様にお知らせしておきたいと思います。

またなにより、今年の松桜祭が、生徒にとって最高の形で実施できたことが最も重要で素晴らしいことだと考えています。

生徒たちが取組んだ「未成年の主張」の決まり文句である「感謝の思いを伝えよう」を、保護者の皆様にも実践いただき、配信チームに感謝を伝えていただければと思います。よろしくお願いたします。

